

安全上のご注意（必ずお守りください）

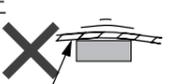
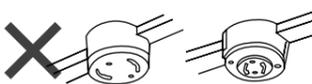
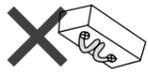
お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。

危害や損害とその程度の区分	絵表示の例
 警告 この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。	 「警告や注意を促す」内容のものです。
 注意 この表示の欄は、「重傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。	 してはいけない「禁止」内容のものです。
	 実行していただく「指示」内容のものです。

警告

 このような場所には取り付けない ※器具の落下によるけがの原因となります。 禁止 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  押すと簡単にたわむ補強のない天井 </div> <div style="text-align: center;">  ケースウェイ取り付け形ローゼット、シーリングボディ </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  傾斜天井 </div> <div style="text-align: center;">  舟底天井 </div> <div style="text-align: center;">  竿縁天井 </div> <div style="text-align: center;">  格子天井 </div> </div>	 このような配線部品には取り付けない ※火災・感電・器具の落下によるけがの原因となります。 禁止 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  欠け 割れ 破損しているもの </div> <div style="text-align: center;">  ガタつくもの </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  19mm未満使用不可 角形・丸形引掛シーリングボディ </div> <div style="text-align: center;">  電源が露出しているもの </div> </div> <div style="margin-top: 10px;">  10mm未満使用不可 埋込形引掛シーリングローゼット </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> これらの場合は電気工事店に依頼して配線部品を交換してください。 </div>
 器具の改造、構成部品（ソケットなど）の交換はしない。 ※火災・感電・故障の原因となります。 禁止 器具のすきまに金属類（ヘアピン・針金など）を差し込まない。 ※感電・故障の原因となります。	

注意

●定格電圧 交流100V以外で使用しない。 過熱し、火災の原因となります。	●器具の真下にストーブなどを置かない。 過熱し、火災の原因となります。
●浴室などの湿気の多い場所や常時温度の高い場所（35℃以上）では使用しない。 絶縁性能が低下し、火災・感電の原因となります。	●屋外で使用しない。（この器具は屋内専用です。） 火災・感電の原因となります。
●調光器と併用しない。 過熱し、火災の原因となります。	●点灯中および消灯直後は蛍光灯が熱くなっているので触らない。 やけどの原因となります。
●お手入れの際や、蛍光灯の交換の際は、必ず電源を切る。 電源を切らないと感電の原因となります。	●器具にボールなどの物をぶついたり、衝撃を与えない。 器具の落下によるけがの原因となります
●照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換してください。点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。	

お困りのときは

●もしこんな現象が起きたときは・・・故障と思われる前に下の表にしたがってお調べください。

こんなときは	原因	直しかた	ページ
リモコンを操作しても点灯しない。	●壁スイッチの電源が入っていない。	●壁スイッチの電源を ON にしてください。	—
	●コネクタがきちんと接続されていない。	●コネクタをしっかりと接続してください。	5
	●リモコンの乾電池が間違っている。	●乾電池を正しく入れてください。	8
	●乾電池が寿命になっている。	●新しい乾電池と交換してください。	8
	●電源を入れたままランプを取り付けた。	●リモコンの消灯ボタンを一度押してから、点灯操作してください。	6
	●器具本体とリモコンのチャンネルが合っていない。	●チャンネルを正しく設定してください。	13
	●蛍光灯とランプソケットの接続がきちんとされていない。	●ランプソケットを蛍光灯の口金にしっかりと差し込んでください。	6
	●蛍光灯が切れている。	●新しい蛍光灯と交換してください。	6
壁スイッチを操作しても点灯しない。	●コネクタがきちんと接続されていない。	●コネクタをしっかりと接続してください。	5
	●蛍光灯とランプソケットの接続がきちんとされていない。	●ランプソケットを蛍光灯の口金にしっかりと差し込んでください。	6
	●蛍光灯が切れている。	●新しい蛍光灯と交換してください。	6
リモコンの表示画面がでない	●乾電池が寿命になっている。	●新しい乾電池と交換してください。	8
	●乾電池が間違っている。	●乾電池を正しく入れてください。	8
タイマー予約の設定時刻になっても動作しない	●壁スイッチの電源が入っていない。	●壁スイッチの電源を ON にしてください。	—
	●リモコン位置が器具の動作範囲外にある。	●動作する範囲内に置いてください。	12
	●乾電池が寿命になっている。	●新しい乾電池と交換してください。	8
	●器具本体とリモコンのチャンネルが合っていない。	●チャンネルを正しく設定してください。	13
電池残量表示が点滅する	●乾電池の取替時期をお知らせしている。	●新しい乾電池と交換してください。	8,12
勝手に器具の明るさが変わった	●ecoこれっきりボタンで点灯している。（センサーランプ（緑色）が点滅している。）	●リモコンや壁スイッチで点灯を切り替えてください。	9,12
ecoこれっきりボタンの動作中予想外に明るさが変わった	●器具の下に白い衣服などで居た。	●検知エリアから離れてください。	11
	●器具の下に物や新聞紙などを広範囲に広げた。	●器具の下に物を広げる時はご注意ください。	11
	●器具の近くで照明を点灯させた。	●照明を消すか、検知エリアから離してください。	11
	●部屋の模様替えをした。	●ecoこれっきりボタンを再設定してください。	11
	●器具を新しい蛍光灯に交換した。	●ecoこれっきりボタンを再設定してください。	11
ecoこれっきりボタンが動作しない	●ecoこれっきりボタンが動作していない。（センサーランプ（緑色）が点滅していない。）	●ecoこれっきりボタンを押した後、センサーランプ（緑色）が点滅しているか確認してください。	11
このようなことにもご注意ください リモコンで消灯し、壁スイッチを操作しても点灯しない。	●ON・OFF 状態がわかる壁スイッチの場合	●壁スイッチを一度 OFF にし、約1秒後に再度 ON にしてください。	
	●ON・OFF 状態がわからない壁スイッチの場合（押しボタン式で押すたびに ON と OFF が切り替わり、今の状態が ON なのか OFF なのかわからないタイプ）	●①壁スイッチを約1秒間隔で2回押してください。 ●もし①の操作で点灯しないときは、①の操作後2秒以上待ってから壁スイッチを約1秒間隔で3回押してください。	

※万一、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、異常状態がおさまったことを確認してから、お買い上げの販売店に、器具の形式（器具の銘板、カバーのラベル、取扱説明書の表紙に表示）と現象を連絡のうえご相談ください。